

Od 統合医療 セミナー

いまなぜ歯科医療に プラセンタ療法なのか？

胎盤由来成分を用いたプラセンタ療法をご存じだろうか。医科では、慢性肝疾患や更年期障害、乳汁分泌不全などに保険適応があり、幅広く臨床で用いられている。近年は口腔領域においてもプラセンタ療法に注目が集まっている。本特集では、プラセンタ療法の基礎や歴史、薬理作用、副作用などについて、エビデンスに基づいた正しい情報と歯科医院における導入の実際やスタッフ教育の事例をご紹介します。

口腔疾患へのプラセンタ療法の可能性を考える

大阪歯科大学 歯科医学教育開発室
〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8-1

王 宝禮 *Hourei OH*

プラセンタ療法を歯科臨床に応用するハウツー

ひろた歯科医院
〒814-0161 福岡市早良区飯倉2-6-2

廣田 健 *Takeshi HIROTA*

口腔疾患へのプラセンタ療法の可能性を考える



大阪歯科大学 歯科医学教育開発室

王 宝禮 Houri OH

プラセンタに注目した理由

医科では保険診療で処方医薬品のプラセンタ注射薬は、「肝硬変症・慢性肝疾患」、「更年期障害」、「乳汁分泌不全」の適応があり、かつ多彩な効能効果が報告されている。

興味深いことに、数十年前まで、プラセンタ注射薬は「歯周病」に適応があった。当時、わが国の歯学部から、歯周病治療にプラセンタ注射薬を用いて有効性を示す数多くの臨床研究の論文が報告されていたために、プラセンタに興味をもち始めた。また、プラセンタのもつ多彩な効果が、口内炎、口腔乾燥症、味覚障害、口臭症、舌痛症などの口腔疾患や口腔不定愁訴に対し、「補完・代替医療」としての可能性があると考える。

さて、プラセンタはさまざまな効能・効果をもち、その効果は全身に及ぶ。表1に薬理作用と、表2に有効な領域・疾患を記載する。プラセンタの具体的な有効成分は特定されていないが、タンパク質、アミノ酸、糖質、ピ

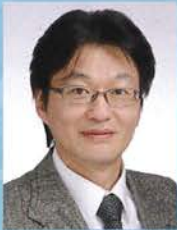
タミン、核酸、ミネラルや各種の生理活性成分を含むことが知られている。これらが直接薬理作用を生み出しているとは考えにくいですが、総合的に働き、効果を発揮していると考えられている。一方、現在用いられている主流の医薬品は、化学合成された単一製剤であって、作用のメカニズムが明確であるが、それに反してプラセンタは生物製剤であるため成分的に複合製剤であり、作用のメカニズムが十分にはあきらかにされていない。生薬を複合している漢方薬の評価と同じである。

また、医科でのプラセンタ療法の専門医の多くは、プラセンタが歯周病に有効であることを論文から認知し、患者に説明している。

今回、前半ではプラセンタ療法の総論と口腔疾患へのプラセンタ療法の可能性に関して考察し、後半では廣田先生に歯科臨床におけるプラセンタ導入方法をご紹介していただく。さらに、Q&Aのコーナーでは、筆者らに届く質問にお答えしていく。

本稿では、処方箋医薬品であるヒト胎盤由

プラセンタ療法を 歯科臨床に応用するハウツー



福岡県・ひろた歯科医院
廣田 健 Takeshi HIROTA

当院でのプラセンタ導入のきっかけ

咬合異常に伴う不定愁訴の治療に専念していた筆者は、もっと簡便に患者が抱える不定愁訴を取り除けないかと考えていたところ、プラセンタ注射がうつ疾患患者や自律神経失調症に有効であることを知った。そこで、プラセンタ商品を取り扱っている会社へお願いし、資料を取り寄せた。

その資料のなかに、1959年に九州歯科大学でまとめられた『歯槽膿漏症に対する胎盤瘻の効果』と書かれた論文があった。他にも、歯周病に対するプラセンタエキスの論文があり、歯周病に対し有益であるとまとめられていた。歯周病以外にも、顎関節症、三叉神経痛に対する臨床報告もあり、歯科領域ではかなり以前から臨床応用されていることを知り、何のためらいもなく導入することにした。

注射薬購入後、さっそく自分で試してみた。患者として看護師が来院されていたので、筋肉注射、皮下注射の手技を教わりながら、自

分に注射してもらった。その後は毎日、自分の脛を使って皮下注射の練習を行った。その結果、繰り返す口内炎が改善し、疲れが溜まらない体質となり、睡眠の質が変わる（熟睡できる）のを体験した。口腔不定愁訴をもつ家族やスタッフにも同意を得て、プラセンタ注射を始めた。すると、筆者と同じように、疲れがたまらなくなるなどの体験をしたため、治療に取り入れることにした。

スタッフ教育

当院には正社員、パートを含め8名のスタッフが勤務している。毎月初日に行う院内ミーティングおよび院内研修の講師は、スタッフが月代りで担当する。

新規導入する治療法や機材がある場合は、月曜日の昼休み30分を利用し、説明や研修を行う。その際の講師は、筆者か、業者担当者をお願いしている。

プラセンタの場合、プラセンタ注射を体験したスタッフが講師となり、自分で感じた体